



## 入所部日帰り旅行(島根県津和野殿町通り ドライブ&散策コース)

3 グループに分かれての入所部日帰り旅行の第二便で 10/8(火)に島根津和野殿町通りへ行って参りました。10 月に入り気候も良くなってきましたが、当日はあいにくの雨。ところが現地に着く頃には雨も止み、過ごしやすい日和となりました。みなさんの旅行への思いが通じて雨が止んだのかと思いました。長時間のバスドライブ。みなさん楽しそうに車窓を眺めていました。『沙羅の木』(飲食店)では山菜つづりランチを堪能しました。スタッフさんが料理の説明をして下さいましたが、みなさん目の前の料理にくぎ付けで説明を聞かれていなかったのが印象的でした。やっぱり食事が大好きなんだと感じました。食後は、城下町を散策し、堀に泳いでいる鯉を眺めたり、お土産売り場で思い思いに買い物を楽しんでいました。日帰りで限られた時間ではありましたが、利用者のみなさんとゆっくり時間を過ごすことができました。また普段と違う表情などを見る事ができたことに感謝いたします。

(生活支援員 検校 司)

# にゅうしゅミュージアム



9月25日に入所ミュージアムを開催しました。コロナが5類になり、世の中の動きもコロナ流行以前の生活に戻っている中で、コロナ禍でお伝えしにくかった、利用者みなさんの入所部での生活の一部を見ていただくというのが1番の目的でした。《入所ミュージアム》では3つのテーマで展示をしました。①活動班(ホップ・ステップ・ジャンプ、略してHSJ活動)で実際に行っている個別の自立課題の展示、②HSJ活動班ごとに作成したグループ作品の展示、③アート活動で41人それぞれが作成した個別作品の展示です。入り口からワクワクする様々な飾りつけとともに、入所棟全体を使用して展示しました。

自立課題が展示してあるブースを見た保護者の方から、「職員さんから“〇〇をしています”と課題の名前は聞いていたけど、実物を見られてよかった」「こんなことができるのね」「頑張っているね」などの感想をいただきました。また「学生時代は、こんなこともしていたのよ」「こんなことも出来ると思うよ」などの、利用者さんの情報も聞くことも出来ました。職員が利用者みなさんに参加してもらう為の工夫をたくさん行ったHSJ活動の作品では、職員の頑張りをほめていただきました。今年度始めたアート活動の個別作品では「一人ひとりの持っている能力を最大限に引き出す素敵な作品ばかりで、新しい驚きがあった」との感想をいただきました。新しい試みでしたが、前準備も含め、職員、利用者みなさんの多くの協力があり、楽しく有意義な時間を保護者の方と一緒に過ごす事ができました。

最後に、HSJ活動で作成した「季節の木」の人気投票の結果は、1位ホップ活動、2位はステップ活動、ジャンプ活動同点という結果となりました。  
(主任生活支援員 乙原 恭子)



10月に入り、秋服へ衣替えを行いました。今年は残暑が厳しく、遅めの衣替えとなりました。冬服への衣替えも遅くなりそうですね。朝晩と日中の気温差がある為、エアコンで温度調節しております。気温差等により、体調を崩されないよう配慮していきます。

(生活支援員 西川 瑠梨)

## 開所日ワクワク通信



9月開所日は、陶芸班で手作りしたお皿に絵付け体験をしました。皆さんとても上手に描かれ世界で1枚のお皿が出来上がりました。  
(生活支援員 堂面なみ)

## ひがえりりよこ

9月27日(金)に通所部日帰り旅行で『みろくの里』へ行きました。1か月前から楽しみにされている方もおり、数多くの行事の中でも、日帰り旅行はみなさん本当に楽しみにされているイベントだと感じました。日が近づくにつれ「いつ旅行?」「旅行用の服は何にしようか」「乗り物は何に乗ろうか」など話題も旅行一色になっていました。当日は天候に恵まりましたが暑さが厳しく…その中でもみなさんアトラクションや園内の散策、お土産を選んだりと自由に楽しまれました。当日はケガや事故もなく無事に終える事ができ一安心です。また来年も多くの方にご参加いただければと思います。

(生活支援員 朝川 泰貴)



## あらいてあらいは



おにゅーです!

通所のホール横に新しい手洗い場ができました。以前は手洗い場と足洗い場があったのですが、水漏れ劣化と支援の安全性を優先して、改修工事を行いました。多目的用の木製のカウンターも設置されているので花をかざったり有効に使っていきたいと考えています。

貝通し班

十月に入り、ようやく秋らしくなり  
ましたね。季節の変わり目で体調を  
崩しやすい時期です。皆さんの  
様子を伺いながら、無理なくコツコツ  
と作業に取り組んでいきます。

ひらたかし  
今月は平隆志さんをご紹介します。  
平さんは、作業中は時間いっぱい集中  
して採苗器作りに取り組まれます。  
ニコニコと笑顔になられたり、真剣な  
表情になられたりと表情豊かで素敵  
な方です。そんな平さんと、これから  
も楽しく日中過ごしていけたらと思  
います。(生活支援員 冠茜)

陶芸班

イベントの展示用ポスター作りを行  
なっています。紅葉した友和の里を  
イメージして絵の具を手付けて色  
付けしています。ペタッ、ペタッと丁寧  
にされる方、細かく何度もとんとん  
される方、皆さんの手型が重なって  
とても素敵な色合いになっています。

(生活支援員 堂面 なみ)



創作班

何気ない日々の会話の中に、コミュニケーションの  
ヒントになることに気づくことがあります。そんな  
な会話を紹介します。大黒さんは思わず応えず  
にはられないような方法で職員に話かけられ  
ます。例えば「ヨリオさん〜ワッハッハー」のよう  
にまず最初に名前を言って相手の気をひいたり、  
「〇〇さんダイジョウブ?」「ガンバッター」「タ  
ノシカッター」などコミュニケーションの始まりと  
なるキャッチボールを投げるのが上手です。私も  
相手の注意をひきたいときにはぜひ参考にし  
て活用したいなと思います。

(生活支援員 寄尾 博孝)

療育班

ホールでの活動の様子をお伝えします。今  
回依頼されていた業者さんのゴム入れ作業  
がひと段落ついたので、ホールで作業される  
皆さんは「塗り絵」を行ないました。それぞ  
れ好きな色で思い思いに色を塗りました。

(生活支援員 濱田 吉弘)



## GH親睦会

10月16日(水)、グループホームゆうわに保護者さんをお招きし親睦会を行いました。前々日から皆さんと一緒に食堂の飾りつけをし、ワクワクしながら当日を迎えられました。町内に新しく開店された、『和 bentou GENの厨房』のお弁当も興味津々!見た目以上のボリューム感、一つひとつが手作りでどれも美味しく好評でした。お父さんお母さんと一緒にお弁当を食べながら楽しい時間を過ごされました。また次回が楽しみです!

(生活支援員 正木 はるみ)

## いどうスーパー

グループホームゆうわとフレンドホームゆうわでは、毎週水曜日の午後よりマックスバリュから移動スーパーの販売車が来てくださいます。販売車の中は(右写真➡)このようになり、生鮮食品や日用品、お菓子やジュースなどが販売されています。買い物がしやすい様に折り畳み式の買い物かごを借りて、みなさん好きな物を購入しています。人気商品はお菓子やジュース、ふりかけなどです。この日は焼き芋が販売されていました。限られたスペースを最大限に活かしながらこういった季節の物も販売してもらえるのは本当にありがたいですね。滞在時間が決められているのと、外出中の方がいることもあり、全員が買い物をすることはできません。ですので毎週順番で利用してもらいます。「アレとアレを買って」と頼まれたものを代わりに職員が購入する事もあります。

(生活支援員 香川 剛司)

## いもほり 2024.10

サツマイモの収穫をしました。5/30 植え付け、7月にマルチ張をして栽培したサツマイモです。評議員の神鳥正貴さんが指導&作業の手伝いをしてくださっています。今回は通所部の松浦暢さんと山根慶一さんが参加しました。この二人の役割分担がばっちりだったそう。芋ほり担当松浦さん、運び担当山根さんという流れでスムーズに作業ができたそうです。いつもより大きなサツマイモがたくさん収穫でき、この芋は11/10の友和の里まつりで焼き芋として販売されます。たのしみです~。





今月はコミュニティーハウスで毎月1回開かれている認知症カフェを運営しているリフレッシュクラブ代表吉本いづみさんにお話をききました。リフレッシュクラブには11月に予定している「友和の里まつり」で模擬店のお手伝いをお願いしています。

## リフレッシュクラブとは

スタートは在宅介護者の会という名前で旧佐伯町社会福祉協議会の事業として始まった活動。自宅で介護をするのが当たり前だった25～6年前に、介護者が集まって話をする場はなかった。はじめてみると一人で悩んでいたり、施設に預ける罪悪感など持っていることが分かった。心の内を話すことでほっとできる場をつくってきた。リフレッシュしてもらうことを目的として続けてきた活動だったが、途中社協の事業でなくなったりもした。その後も活動は継続されて今に至る。

## 吉本さんが続けてきた中でわかったこと

何か特別なことをするよりも話をするだけでいいんだとわかった。メンバー同士では「同志」と言っているが、集まっておしゃべりして共有しあうことって大事！現在メンバーは36名、今は介護が終わったメンバーも所属している。

## 認知症カフェ『リフレッシュ・カフェ』について

廿日市市からチームオレンジ事業として委託をうけて実施しているカフェ。友和の里コミュニティーハウスで毎月第3木曜日にオープンしている。事業の依頼があり場所を探していたところ、立地の良いコミュニティーハウス（現在、相談支援専門員が在中）を借りることができるというのを知り、お願いをしたのが始まり。7名のメンバースタッフがそれぞれ自分の得意分野をいかして手伝ってくれている。手作りスイーツを作る担当の人、手話で歌をおしえてくれる担当、送迎の添乗のお手伝いなどそれぞれの得意や特技を披露する場にもなっている。

## 移動支援がはじまったわけ

カフェの参加者は約25名になった。はじめてみると、参加者がカフェに来るまでの移動に課題を感じるようになった。中には免許証を返納してしまったので自転車できたり、自力でなんとか運転してくる人がいた。移動に不安を感じる参加者には移動支援をしてはどうかとなり、友和の里の協力のできるようになった。広範囲から参加ができるようになっていく。

取材を通じて感じたのは、リフレッシュクラブは特別な人たちの集まりではないということ。日々当たり前にあるいろんな出合いやつながりを感じられる日常の場のつづきにあるところ。私たちが認知症になっても通えて、自分たちの居場所にすることができ、自分がそうなった時にも誰かが気づいてくれるような、そんなところ。これからも長く活動が続くといいなと思いました。 （地域交流支援員 ヒューガノリコ）



にぎやかなカフェのようす

## 広原山だより その8



日本知的障害者福祉協会から『はじめて働くあなたへ 一よき支援者を目指して』という書籍が発刊されています。言うまでもなく、施設職員の入門書です。その中で、QOL は「生活」の質と訳されますが、「人生」の質ではないかと提起しています。また、「ノーマライゼーションの8原理」を提唱したベンクト・ニリエ（スウェーデン）は、「QOL を高めることは、その結果として人権が守られていることにつながる」と言っています。

日ごろ、職員間では、「QOL を高める」こと、つまり、利用者さんの豊かで穏やかな生活を支援することがわれわれの役割であり、いかにして生活の質を向上させるか、その具体について話し合っています。少々、大上段に構えすぎた書き方になってしまいましたが、職員は、部署ごとに利用者さんの落ち着いた表情や笑顔を引き出そうと日々、奮闘しています。また、保護者の皆さまもそうしたやりとりを期待されています。

先月のNHKテレビ番組『クローズアップ現代』で、他県の障害者グループホームの組織的な不正の実態が取り上げられました。観られた方もおられると思いますが、その内容は、支払いに見合わない食事内容、排泄物の放置などの劣悪な住環境。スキルも経験もないスタッフ陣。当然のことながら利用者さんは笑顔を失い、物を壊したり、大声を出したり…。観続けるのが辛くなるような放映内容でした。

社会福祉法人友和の里では、国が掲げる「障害のある人も地域の一員として共に暮らす」という理念を尊重して、再来年、地域とつながった3番目のグループホーム設立をここ友和地区に準備中です。準備のあいだ、利用者さんも、保護者さんも、職員も着実に歳を重ねていきます。かけがえのない期間、職員はスキルも経験も重ねて利用者さんの豊かで穏やかな日々が提供できる体制をさらに深めなければなりません。

番組の最後に先のグループホームを利用されていた利用者さんのお母さんの発言が今でも耳に残っています。「みんなから愛されて生活してほしい。それが一番です。いつか私たちがいなくなっても、誰かから大切に思われたり、優しくされたりすれば、あの子は1人でもやっていけると思います。」

実に多くの事柄を考えさせてくれた先の入門書であり、テレビ番組でした。

(常務理事 下川 真稔)

廿日市市社会福祉協議会主催

### 令和6年度福祉施設職員相互研修のご紹介



今年度は友和の里から 13 名が市内の施設へ研修へ出向きました。友和の里には 5 名の方が研修にこられました。

#### 相互研修とは

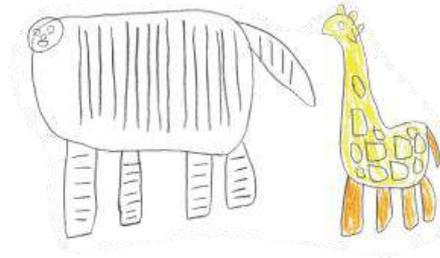
いつもの現場を離れて廿日市市内の異なる福祉施設で業務を体験したり交流を深めたりする研修。他施設の業務を理解し体験することで、自身の今後の仕事の仕方に活かすことを目的としている。

今年は市内 17 施設の実施協力があり、44 名の福祉施設職員が研修に参加しました。

# 11月 ぎょうじよてい 行事予定

- 11/5(火) ぜんたいひなんくんれん 全体避難訓練
- 11/6(水) にゅうしょぶざくたいぼうし しんたいこうそくてきせい かいぎ 入所部虐待防止・身体拘束適性会議
- 11/7(木) はつようまつり
- 11/8(金) ゆうしょくかい 夕食会
- 11/10(日) ゆうわ さと 友和の里まつり
- 11/13(水) にゅうしょぶかいぎ つうしょぶかいぎ 入所部会議、通所部会議
- 11/14(木) かいぎ GH/FH会議
- 11/16(土) かいしょび 開所日
- 11/18(月) しんぼくかい FH親睦会

- 11/24(日) ほうもんびよう GH/FH訪問美容
- 11/25(月) よぼうせつしゅ にゅうしょ インフルエンザ予防接種(入所)
- 11/26(火) よぼうせつしゅ (つうしょ) インフルエンザ予防接種(通所)
- 11/29(金) にゅうしょぶりようしゃけんこうしんだん 入所部利用者健康診断
- 11/29(金) つうしょぶりようしゃけんこうしんだん 通所部利用者健康診断



作画 石田亮



10月28日  
友田専念寺仏教婦人会さまより  
ご寄付をいただきました。  
ありがとうございます。



## ほっと&ぴっぐ NEWS



10/13(日)第41回さいきアーチェリー  
大会ターゲット部門アスリートの部に宇吹  
伸二さんと田中陽介さんが参加しました。  
通所部に通う二人は毎月2回レッスンを続  
けてきたそうです。

アーチェリーの練習の成果を発揮できる場  
で利用者がなんと、表彰されました。  
田中陽介さんが1位入賞、宇吹伸二さん2  
位入賞の成績をおさめられました。

### すばらしいー

応援にかけつけた職員によると、大勢の人  
が参加する大会でしたが、どうどうと競技  
に参加して、好成績を残されたという報告  
をもらいました。

おめでとう!!

